

エチオピア大周遊と ダロール低地ダナキル砂漠の旅

聖ゲオルギ教会／ラリベラ



ご旅行期間とご旅行代金 【旅行代金には燃油サーチャージが含まれております】
2025年 11月25日(火)発～12月8日(月)着…¥759,000
お一人部屋利用追加料金 ¥78,000

ツアーのポイント

- ◆欧州観光貿易評議会(ECTT)によって、2015年にエチオピアが「世界最高の観光地」に選ばれました。
- ◆独自のユダヤ・キリスト教文化を築いた、歴史の国エチオピアに、壮大な文化遺産とキリスト教的エチオピア芸術の数々を訪ねます。
- ◆ダロール低地や、シミエン山地などエチオピアの大自然も楽しめます。

プレスタージョンの伝説

中世の時代、ヨーロッパの十字軍とイスラム軍は聖地エルサレムをめぐる度々戦いを繰り返しました。劣勢にたたされた十字軍の間では遙か遠くの地に司祭(プレスター)であるヨハネ(ジョン)が収める一大キリスト教国があり、イスラム軍を一掃してくれるとの噂が広がりました。そして、その地はエチオピアであるとヨーロッパの人々は信じたのです。その理由は、古くから独自のキリスト教文化を守って発展してきたこの国には、不思議な教会群があり、裕福な巨大国家だったと信じられていたからです。実際には当時のエチオピアはイスラムに対して勝利をもたらすほどの国力はありませんでした。ヨーロッパ側からすると、大変珍しい教会群が点在する土地ではありましたが、ただそれだけだったのです。

16世紀にポルトガルの司祭がこれら岩窟教会群を発見した時に、あまりの美しさに目を奪われ、ポルトガル王に報告しても信じてもらえないと思ったため、途中で報告を止めてしまったほどです。現在でも今から800年も前の12世紀に、どのようにして硬い岩山を削ってこのような教会群を造りえたのか、正確なところはわかっていません。

エチオピアの歴史は古代から伝承や口伝で成り立ってきました。そのため他の国とは異なり、現在では証明しづらいことが多いのですが、しかしその伝承を信じて生活するエチオピアの人々を見ると、そこにはロマンがあり、文献の歴史の中に暮らす私たちとは違ったもうひとつの歴史世界があるように思えます。

株式会社 イーデル・ツアー

ラリベラ岩窟教会群

エチオピアには4世紀頃にキリスト教が広まり、大半の住民がキリスト教徒となりましたが、その後のイスラム勢力の拡大によりアフリカのキリスト教徒たちはエルサレムへの巡礼ができなくなってしまいました。そこで、当時のエチオピアの王、ラリベラはこの地に教会群を建設し、第2のエルサレムを建設しようとしたのです。その結果作られたのが岩を掘りぬいて建物にした不思議な教会群です。13世紀の建造物といわれる岩窟教会は全部で11基あり、今でもエチオピア正教の重要な信仰の場として知られています。1978年に世界遺産に登録されました。



アサル塩湖



オベリスク／アクスム



シミエン山地

ご旅行条件

- 募集人数/10名様
- 最少催行人数/6名様
- お食事/朝食9回・昼食10回・夕食10回
- 予防接種/黄熱病予防接種証明書(イエローカード)は不要ですが、受けられることが推奨されています(受けられる方は出発の10日前までにお済ませください)
- エチオピア査証料・同取得手数料/¥16,000(別途必要)
- 査証用写真/1枚(縦 4.5cm×横 3.5cm、カラー)※背景は白のみでスナップ写真などは不可。6か月以内に撮影したもの
- 旅券残存期間/出国時6か月以上
- 査証申請に際して、パスポートの顔写真のページのコピー(カラー)は必要となります
- 査証欄/2ページ以上
- 国際観光旅客税/¥1,000(別途必要)
- 千歳・成田空港利用料/¥4,800(別途必要)
- 国際観光旅客税/¥1,000(別途必要)
- 海外空港税・出国税/旅行代金に含まれております
- 千歳空港より、全行程、社員添乗員同行
- トランク往復無料託送サービス
- 【ご自宅～空港～ご自宅】
- ※ビジネスクラス追加料金はお問合せください。
- ※現地の都合によりスケジュールが変更される場合がございます。その場合でも極力日程に従って旅行サービスがお受けになれるよう万全の手配努力を致します。
- ※一部区間は四輪駆動車に分乗となります。予めお含みください。
- ※ハメド・エラでは、一泊のみテント泊となります。予めお含みください。



歴代皇帝の宮殿群／ゴンダール

ご利用予定ホテル

- アジスアベバ／ゴールデン・チューリップ、ベスト・ウエスタン・パール・アジス
- ハメド・エラ／テント泊
- メケレ／メケレ・ホテル、プラネット・ホテル
- アクスム／サビアン・インターナショナル、ヤレド・ゼマ・インターナショナル
- ラリベラ／ローハ、マウンテンビュー、パノラミック・ビュー、トップ・トゥウエルズ、ザン・セヨムホテル、メゼナ・リゾート
- ゴンダール／タヤ、ゴハ、ゴンダール・ブラザ
- ※上記または同等クラスとなります。



ダロール低地

	都市名	スケジュールと見どころ/お食事と宿泊地
1	千歳 成田	スーツケース無料託送サービス 自宅～空港 ■午後、千歳空港より、航空機にて成田空港へ。 ■夜、成田よりエチオピア航空にてソウルを経由し、エチオピアの首都・アジスアベバへ[20:30発]。 ☐・☐・☐・☐ [機中泊]
2	アジスアベバ	■朝、アジスアベバ到着[07:45着]。入国審査を済ませたのち、アジスアベバ市内観光。人類最古の「ルーシー」のレプリカを展示する国立博物館、聖三位一体大聖堂など。 ■午後、早めにホテルで休憩です ☐・☐・☐・☐ [アジスアベバ泊]
3	アジスアベバ セメラ ハメド・エラ	■午前、エチオピア航空にて、セメラへ。 ■着後、四輪駆動車に分乗し、ダロール低地観光の拠点ハメド・エラへ。 ■夕刻、ハメド・エラに沈む夕日鑑賞もお楽しみください。 ☐・☐・☐・☐ [ハメド・エラ(テント)泊]
4	ハメド・エラ (ダロール)	■午前、四輪駆動車に分乗し、アフリカ大地溝帯があるアフリカ最低地[マイナス116m]に位置するダロール低地周辺の観光。極彩色の景観や、アファール族が塩の採取を行うことでも有名な「エチオピアのウユニ塩湖」アサル塩湖などへご案内します(注)。 ■午後、メケレへ。 ☐・☐・☐・☐ [メケレ泊]
5	メケレ イエハ アクスム	■午前、専用バスにて、アクスムへ。途中、エチオピア最古の教会の一つといわれるウルコ・キルコス岩窟教会や、エチオピア最古の町だったイエハへご案内します。 ■その後、3000年以上の歴史を持つエチオピア建国の地世界遺産 アクスムへ。 ※アクスムに連泊です ☐・☐・☐・☐ [アクスム泊]
6	アクスム	■終日、市内観光(モーゼの授かった十戒「失われたアーク」が保存されているというシオンの聖母マリア教会[外観]、世界最大級のオベリスク、シバの女王の宮殿、シバの女王の浴場、考古学博物館など)。 ☐・☐・☐・☐ [アクスム泊]
7	アクスム アジスアベバ	■エチオピア航空にてアジスアベバへ戻ります。 ■着後、簡単な市内観光へ。 ☐・☐・☐・☐ [アジスアベバ泊]
8	アジスアベバ ラリベラ [第一グループ]	■午前、エチオピア航空にてエチオピア正教の聖地・ラリベラへ。 ■着後、世界遺産 ラリベラ岩窟教会群の観光。アブラハムやイサクの墓標があるベダ・マダハニ・アラム教会、ダビデの星などの美しいレリーフが残るバタマリアム教会、アダムとイブの墓など第1グループを見学します ※ラリベラに連泊です ☐・☐・☐・☐ [ラリベラ泊]
9	ラリベラ [第二グループ]	■午前、ラリベラ郊外にある聖イェムレハ・ン・クリストス洞窟教会をご案内いたします。 ■午後、前日に引き続き世界遺産 ラリベラ岩窟教会群の観光。ガブリエル・ラファエル教会、地獄の道、聖マニエル教会、天国の道など第2グループの見学です。 ■また、ラリベラ岩窟教会のシンボルで十字の形をした聖ゲオルギ教会も訪ねます。 ☐・☐・☐・☐ [ラリベラ泊]
10	ラリベラ ゴンダール	■午前、エチオピア航空にて、エチオピア最初の首都・ゴンダールへ。 ■着後、世界遺産 ゴンダールの観光。ゴンダールがエチオピアの中心だった時代に建てられた歴代皇帝の宮殿群や、天井いっぱいに描かれた羽のある天使画で有名な聖三位一体教会(バルハン・セラシエ教会)へご案内します。 ※ゴンダールに連泊です ☐・☐・☐・☐ [ゴンダール泊]
11	ゴンダール	■終日、ゴンダール郊外の観光。世界遺産 シミエン山地では、簡単なハイキングののち、切り立った山々の絶景をご覧いただきます。また、古代ユダヤ教を信奉する失われた部族(ブラック・ジュー)が暮らしていたファラシャ村にも立ち寄りませす。 ☐・☐・☐・☐ [ゴンダール泊]
12	ゴンダール アジスアベバ	■午前、エチオピア航空にてアジスアベバへ戻ります。 ■簡単な市内観光ののち、出発までホテルで休憩です。 ■夜、エチオピア航空にてソウルを経由し、帰国の途へ[22:35発]。 ☐・☐・☐・☐ [機中泊]
13	成田	■夕刻、成田空港到着[19:30着]。ホテルバスにて空港近郊のホテルへ。 ☐・☐・☐・☐ [成田空港近郊泊]
14	成田 千歳	■午前、航空機にて、千歳空港へ。 ■千歳空港到着後、解散。 スツケース無料託送サービス 空港～ご自宅 ☐・☐・☐・☐

※表記の時間は、すべて現地時間と表示されております。
※表記の「○」はお食事の有を示します。「→」は機内食、「×」の食事は含まれておりません。

モーゼの十戒の伝説

エチオピアと紅海を隔てたお隣に位置するアラビア半島南部のイエメン共和国には、今は砂に埋もれてしまったシバ(シエバ)王国がありました。この王国を最も世に知らしめた人物はビルキス女王だと言われています。彼女の時代にアラビア半島で採れた乳香(当時は金以上の価値があった)をローマやエジプトなどに対し、主な交易の材料として販売していました。旧約聖書にはソロモン王との謁見の話が登場しますが、彼女はかつての中心地マリブからエルサレムへと向かったのでしょうか。

さて、エチオピアの伝説によると、ビルキス女王はその時にソロモン王との子をもごもり、生まれた子をメネリクと名付けました。メネリクはエチオピアへと渡った際にモーゼの十戒を携えたと言われています。それが由来となり、エチオピアではモーゼの十戒(のレプリカ)が安置してある場所のみが教会として認められています。メネリクはのちにメネリク1世として、エチオピア北部のアクスムを中心に国を興し、現在に至ります。

メネリク1世が持ち帰ったオリジナルのモーゼの十戒は、アクスムにあるシオンの聖マリア教会に保管されていると伝えられています。



株式会社 イーデル・ツアー